

J AIPA

Express

Vol.51
June 2019

CONTENTS

ご挨拶
レポート
部会報告
事務局通信
会員紹介
行事一覧
役員一覧
会員一覧
全国プロバイダー一覧
People,people

みなさん、こんにちは。BizMobileの小畑です。

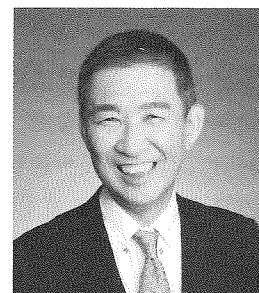
JAIPAに関わり始めてから、早いもので10年ほど経ちました。その間にイー・アクセス、イーモバイル、ソフトバンク、エクイニクスジャパン、BizMobileと5つの会社を経験し、更に本年4月1日にIoT-EX(株)を立ち上げ、社長に就任しました。1986年に新卒で入社した国際電信電話(株)から数えると、インターネット総研、スピードネットも入れて、9社目です。また、起業に参加したのはJPIXも入れて6社目で、社会人になった頃には全く想像もしなかった状況です。一貫して、技術を起点に仕事をしてきましたが、その中でも、国際パケット交換網、国際ファクシミリ交換網、インターネットバックボーン、インターネットエクスチェンジ、ADSL、WCDMA、LTEなどの様々な通信技術の相互接続の標準化、開発、運用に携わってきました。その集大成として、プロトコル策定から立ち上げてきたのが、IoTデバイスやサービスを相互接続するIoT-EX社です。先日、無事に電気通信事業者としての届け出も済ませ、6年ぶりに通信の世界に戻ってきました。

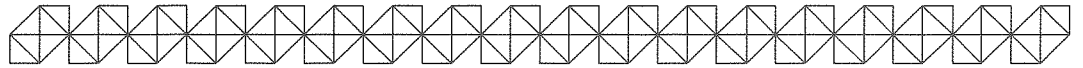
JAIPAでは、理事や会長補佐としての一般的な業務に加え、インターネットガバナンスやフレッツ光に関わる様々な課題に関わってきました。これらの活動においては、接続事業者としての利益を追求する必要が無いので、日本のインターネットインフラの発展のために中立的に活動することを心がけてきました。ただ、残念ながらフレッツ光におけるIPv6の普及やネットワークの輻輳等の問題の解決は非常に時間がかかっている状況です。これはNTT東西が投資してきたインフラ資産の効率的な活用が時代の変化と共に非常に困難になっていることが根元にあると思われる。

更に、昨今の急速な技術の発展に従い、通信の民営化、解放、自由化及び競争の促進等の政策はこれまでのように大きな成果を上げられない状況となってきています。それに加えて、主として海外のOTT事業者の勢力拡大により、通信事業の事業環境が大きく変わってきています。通信事業だけを規制の対象とすることによって通信インフラの継続的な発展を図ったり、消費者を保護することが困難になってきています。また、全てのものがインターネットに繋がると言われているIoTが発展すると、これまでは通信事業とは関わりのなかったメーカーやサービス事業者がインターネットに深く関与することとなり、通信を取り巻く環境はとて複雑になっていくでしょう。IoTの世界では、人が直接関与しない「もの」や「機能」も認証を受けてアドレスが振られ、ディレクトリに登録されます。これは、一般的な公衆通信技術と同様の機能ですので、その延長線上で技術が発展していくと思われます。しかしながら、所有者や管理者などで括られる「もの」の集合体(例えば、家の中の家電機器や住設機器、工場に中の設備など)に閉じた通信や情報処理を如何にインターネット上で実現するかは、セキュリティだけでなくプライバシーも強く関わってきて、個人の嗜好や感覚が大きく影響してくるものと思われます。また、データ所有権やプライバシー保護、フィッシング詐欺、海賊版ダウンロードなどのように、技術的に何が可能であるかを理解しながら議論を進めない、消費者にとって有用な結論がなかなか出せない社会的な課題も数多く出てきています。資金力や市場支配力が高いGAFANなどの競争やインターネットフラグメンテーション問題などが状況を更に困難にしています。これらの課題に対応するには、投資回収を適切に行うためのビジネスモデルの検証、コスト低廉化のための汎用技術の開発やネットワーク拡大のためのルール作りなどが需要ではないかと思っています。そのため、多くの事業者がオープンに、スピード感をもって、相互に関わり合いながら事業展開をしていくことが非常に重要だと思われます。

JAIPAには、ISPに加えて、多くのクラウド事業者が参加しております。また、地域の集い、沖縄ICTフォーラムやクラウドカンファレンスなどの主催イベントも活況を呈しています。インターネットサービスプロバイダーという枠から飛び出して、IoTにも手を広げる環境が育ちつつあるのではないかと感じています。IoTに必要な無線通信についても、モバイル部会を中心に通信キャリアとは違った視点で貢献できるのではないのでしょうか。JAIPAは、各省庁からの直接的な支援もなく、事業規模や歴史に即した階層構造も持っていません。また、各地方の事業者も多数参加しています。今後もJAIPAがインターネットに関わる様々な分野において、業界の発展と消費者の保護のために活動し続けていくことを期待しています。

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
常任理事 小畑 至弘
(BizMobile株式会社)





インターネットユーザー部会の活動

平成27年5月22日に「電気通信事業法等の一部を改正する法律（平成27年法律第26号。以下、「改正法」という。）」が公布され、平成28年5月21日から施行されています。改正法と関係法令では、携帯電話サービス、光回線インターネットサービスなどの電気通信サービスについて、書面交付義務、初期契約解除制度、適合性の原則、自動更新時の事前通知など、新たな消費者保護ルールが導入されました。（総務省Webページより抜粋）

〈参考ページ〉

■電気通信事業分野における消費者保護施策

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/shohi.htm

■電気通信事業法の消費者保護ルールに関するガイドライン（2018年9月）

http://www.soumu.go.jp/main_content/000576548.pdf

当協会のインターネットユーザー部会では、総務省主催の研究会参加や毎月の部会で他社との情報交換を行い日々、消費者へのサービス向上に力を入れております。また、公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（NACS）ICT活用研究会とは、毎年、電気通信サービスについて勉強会を開催して意見交換を行っています。

最近ではMVNO関係の苦情数が多いということもあり、国民生活センターをはじめとする消費者から直接相談を受ける相談員の方々へMVNOの概要とMNOとの違いを重点に、勉強会を開催して情報共有を図っています。以下に、勉強会の様子を抜粋してご紹介します。

・「MVNOについて」勉強会および意見交換

2018年3月27日 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（NACS）

・「MVNOについて（～MNO（携帯電話会社）とMVNOの違い～）」

2018年5月9日（水）東京都消費生活総合センター
8名参加

2018年5月17日（木）国民生活センター 40名参加

2018年7月21日（土）全国消費生活相談員協会関東支部
群馬 35名参加 ※下記紹介

2018年9月29日（土）全国消費生活相談員協会関東支部

静岡 38名参加

2018年11月4日（日）全国消費生活相談員協会関東支部

東京 70名参加 ※下記紹介

2018年11月27日（火）東京都消費者啓発員再養成講座

東京 19名参加

〈ご紹介〉

■全国消費生活相談員協会関東支部 群馬地区

日 時：7月21日（土） 13:30～15:00

場 所：前橋プラザ元気21 5階507学習室

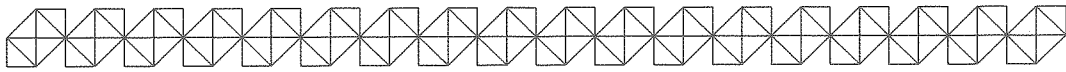
テ ー マ：「MVNOについて」～MNO（携帯電話会社）
とMVNOの違い～

参加者数：35名 JAIPA：4名



東京以外では初めてとなる群馬県前橋市での開催であり、暑い中でしたが群馬県を中心に35名の相談員の方に参加して頂きました。資料は、5月17日に実施した国民生活センターでの勉強会で質問が多かった「MVNOの通信速度（昼休み時などに遅くなる）」、「MVNOの音声通話でのプレフィックス電話（アプリを使わないと多額の料金請求が発生）」に関する事項を追加して説明しました。

群馬県では、まだMVNOの利用者はそれ程多くなく、MVNOより「格安スマホ」という名称の方がご存知の方が多いようでした。MVNOはこれから増加するだろうとこのことで多くの方に熱心に聴講頂きました。当日の質疑応答もMVNOそのものの質問が多くあり、予定の30分を超過した状況です。「インターネットでは「SIMカッター」が販売されている。小さいサイズに合わせて切ってもSIMは使えるが、SIMは事業者からのレンタル品であり、必ず、事業者へ「SIM



サイズ変更」を申し出て欲しい。」という話などは興味を持って聞いて頂いたようです。

後日、全国消費生活相談員協会関東支部・支部長から「初めて聞く内容のことも多かったのですが、具体的な例をあげての説明はわかりやすく、とても参考になりました。」とお礼状も頂戴しました。

■全国消費生活相談員協会関東支部 東京地区

日 時：11月4日（日） 13:00～15:00

場 所：株式会社東京繊維流通センター「綿商会館」

テ ー マ：MVNOについて～MNO(携帯電話会社)とMVNOの違い～

参加数：70名 JAIPA：4名



東京だけでなく関東近県から70名参加頂き、当初40名の予定だった会場を大きな会場に変更しての開催となりました。平成30年10月1日より総務省令が改訂され、MVNOに初期契約解除制度が適用となったため、MVNOの初期契約解除の留意点についても資料に追加して説明しています。

首都圏ということからかMVNOの利用者も多く、携帯電話やMVNOについて詳しい相談員の方も多かったようで、具体的な苦情・相談内容からの質問が多かったように思います。

具体的な質問では、「契約書面の電子交付はお客さまの事前承諾が必要だが、承諾していないのに携帯電話に電子交付された苦情がある」などの苦情・相談事例や、「初期契約解除では端末、オプションは特定商取引法に従うということだが、端末等は通信販売ではクーリングオフ対象外ということか」などの改正法に関する質問に加えて、「MNOが値下げするとMVNOは何処で差別化するのか」とMVNOの方針などについての質問もあり、回答に苦慮するものもありました。

前回の静岡地区までは開催時間は15時間のところを2時

間に拡大したのですが、熱心な質問が多く、2時間でも時間が足りない状況でした。

〈終わりに〉

MVNOについては、MNO(携帯電話会社)と同等のサービスを期待して、苦情となっているケースが多い状況です。利用者拡大とともに、消費生活センターへの苦情・相談も急増中で、独立行政法人国民生活センターからも注意喚起がされています。

国民生活センター「こんなはずじゃなかったのに!“格安スマホ”のトラブル」

http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20170413_1.html

このような消費生活センターへの苦情・相談の状況から、MVNOサービスの啓発・普及活動の必要性を感じていました。また、定期的で開催していた勉強会では消費生活センターの相談員の方々の苦労も身近に感じており、部会としてできることから始めようとMVNOについての勉強会を実施しました。勉強会にご好評を頂き、勉強会に参加していた相談員の方を通じて、独立行政法人国民生活センターや広域社団法人全国消費生活相談員協会からの依頼により各地での勉強会開催となった次第です。

現在、総務省では次の改正法の議論がされており、代理店の登録制度導入や高齢者への対応などが強化されるものと思われます。高度化するインターネットサービスと利用する消費者とのギャップが大きくなり、事業者団体としての普及・啓発活動は重要になってきています。7月には光コラボレーションでの事業者変更も開始され、開始当初は混乱が予想されます。そこで、今年度は事業者変更をテーマに勉強会を開催しようと考えています。

インターネットユーザー部会では、総務省の消費者保護関係の政策に対する情報共有・意見交換、電気通信サービスでの消費者トラブル事例の各社での対応についての情報交換や各関係機関への働きかけを行っています。また、部会後の懇親会も毎回実施して、部会では話せない情報交換も盛んに行っています。

今後も、業界団体として、ユーザーの皆様にインターネットを快適にご利用頂けるよう、さまざまな活動をしていければと思います。月1回のペースで部会を開催していますので、ご興味にある方は是非ともご参加ください。

以上



JAIPA各部会のご紹介

(1) 行政法律部会

行政法律部会では、いままではまじめに総務省を中心としたさまざまな政策や制度改正の方向や研究会の状況、ガイドラインの動向などを報告してきましたが、最近では各社で起こっている困った問題についての情報交換や相談もほぼ毎回行われるようになってきています。聞くと規模の大小を問わず、どこでも同じようなことが起こっており、法務の担当者は、他社でも同じ問題で頭を悩ませているので安心したり、他の会社の対応例を聞いて参考になったりします。

先般は、消費者庁の人がきて、消費者契約法改正の方向性の説明やヒアリングをしたりしました。今後は民法改正の施行に対応してISPが行うべきことなどについても各社の対応状況の情報交換なども行う予定です。

以前は総務省の方向をウォッチしていれば済みましたが、最近はこのように総務省以外の各省庁からインターネットと事業者に対する規制の話が飛んできます。行政法律部会でもすべてに対応できる訳ではありませんが、業界団体としてISPやホスティング事業者の皆さんに情報提供をし、さまざまな課題について政府とも連携して対応策を探っていければと考えています。

テーマとしては硬いのですが、雰囲気としては割りと柔らかくやっているとと思っています。地方の方も東京にお越しの際は、また東京の方でもまだこられたことのない方は一度お越しください。

部会長 木村 孝

(2) 地域ISP部会

当部会の名称は「地域ISP部会」ですが、地域ISP事業者以外にも大手ISPやホスティング事業者など、協会加盟の様々な会員が積極的に参加し、インターネット全般の諸課題について活発な意見・情報交換を行っています。

時代の移ろいととも内容に変遷はありますが、業界

が直面しているインターネットに関する多くの課題に対して、地域や事業規模にとらわれず積極的に関わり、その解決に向けて提言しています。総務省との協議や各種研究会への参加、当協会としての意見書やパブリックコメントの提出に際しての議論・意見集約も適宜行っております。

また年2、3回のペースで、業界を取り巻く諸課題などを地方の方々にも知っていただくことを目的とした地域イベントを開催しています。ここ数年は「クラウド部会」との共催で「ISP&クラウド事業者の集い」と銘打ち、毎回100名近いインターネット関連事業者の方々に参加していただいています。参加される方の中にはこのイベントを通じて当協会を認知し、新規加盟していただくこともありますので、新規会員獲得にも繋がっています。

本年度も今までの活動を継続しつつ、さらに密度の濃い交流の場として「集い」や新企画を開催してまいりますので、皆様どうぞ当部会とそのイベントにご参加ください。

部会長 晋山 孝善



(3) クラウド部会

クラウド部会では、JAIPAクラウドカンファレンス（9月5日開催予定）、CROSS（10月4日開催予定）、JAIPA ISP&クラウドの集いといったイベントの準備としてプログラムを考えつつ、それを議論のトリガーとして最新の興味深いトピックスについて情報交換を行っています。また、イ



ベントスタッフも定例会に参加することが多いので、20歳代、30歳代の若手も多く参加しております。最新の2019年4月度の定例会には、XX人が参加しました。クラウド部会といえ、定例後の懇親会ですが、いつも多くの方が参加しており、経営者と若手がフランクに懇親できる珍しい場となっております。

また、隔月でJPCERT/CCとセキュリティに関する情報交換を行っており、信頼できる事業者同士で、オープンにできないセンシティブな生の情報を交換、ディスカッションしており、示唆に富んだ話し合いができています。

是非、一度、定例会にご参加ください。

また、イベント情報は下記WEBサイトにありますので、合わせてご利用ください。

■JAIPA CloudConference

<https://cloudconference.jaipa.or.jp/>

■TECH-PARTY CROSS

<https://www.cross-party.com/>

※本年度の詳細は未公開（4月9日現在）

公式サイト

JAIPAクラウドカンファレンス2019の公式WEBサイトです。2019年9月5日（木）に品川グランドホールにて開催されるJAIPAクラウドカンファレンス2019の情報をお届けします。今回で7回目を迎えるクラウドカンファレンスはクラウド関連・・・cloudconference.jaipa.or.jp

副部長 宮内 正久

(4) 女性部会

女性部会は、発足して12年の部会です。

発足当初は、「女性であることで外部の活動に参加しにくい」という環境を打破するため、「女性」を頭につけて女性が参加できる場を提供し、インターネット業界で働く女性達が、企業の枠を超えて問題・悩みを共有し、情報交換や意見交換、異業種交流を行い、自社に持ち帰り、改善活動につなげていくことを目的として設立されました。

12年の年月を経て、現在は女性活躍推進法等の法律も整備され、女性が活躍できる機会も増えました。時代の変化を見据えて、新たな一歩を踏み出したいと考えています。

「女性」「男性」ということにはとらわれず、一個人として

誰もが働きやすい環境、さらに自社内で狭くなりがちな視野を広げられる気づきの場として活用できる部会にすることを目指しております。

メンバー各自がアイデアを持ち寄り、IT業界のみならず様々なジャンルの専門家や第一人者を招いた講演会、ディスカッション、勉強会や見学会を計画・実施し、異業種交流や他社・他部会との交流、共同の企画などを展開しています。

女性男性に関わらずどなたでも参加していただける開かれた部会を目指しておりますので、このような活動に興味がある方のご参加をお待ちしております。

部長 大川 裕子



(5) モバイル部会

モバイル部会は、MVNOを始めとして急激に成長するモバイル市場に対する知見を深めるため、201x年x月に設置されました。部会で扱うテーマは、MVNOに留まらず、5GやWiFi等の技術面やビジネス面に関するものや、制度・規制に関わる総務省での議論のフォローアップ等幅広いテーマについて議論を毎月1回の部会にて行っています。

また、モバイル部会メンバの知見を集めて、広く一般の利用者に対して特に知っておいてほしいテーマを中心として解説記事を作成してJAIPAのHP上で公開しています。内容は格安スマホから青少年向けフィルタリングなど身近なテーマをわかりやすく、理解していただけるよう部会の中で議論しながら作成をしています。

■「かんたん！講座」

<https://www.jaipa.or.jp/lecture/>

月1回の勉強会に加えて、モバイル部会の最大のイベントとしては、年一回の海外調査があります。2017年は香港、2018年には台湾に訪問し、現地の規制機関、MVNO、MNO等を訪問し意見交換を行うことで、モバイルに関わる規制環境、ビジネス環境の違いに肌で触れることで、グローバルな



視点から日本の状況を見る機会を設けています。訪問調査の結果は、地域ISPの集い等の場を通じて、会員各社に共有を行っています。また、海外調査への参加障壁を下げるため、若手メンバの参加に対しての支援プログラムも用意しています。これは、海外出張に関わる旅費・宿泊費をJAIPAにて補助することで、若手の積極的な参加を促す取組みで、2018年はこの支援プログラムを通じて1名の若手が海外調査に参加しました。

モバイル部会は基本的に毎月プレミアムフライデーの16:00からの実施をしています。リモートからの参加ももちろん可能です。また、開催場所も代々木のJAIPA事務所を飛び出して会員会社の会議室を借りて実施することもあり、他社のオフィス環境に触れる機会を設けています。毎回、モバイルに関する幅広い知見のある方々が参加していますので、初めて参加でもモバイル業界に詳しくなること間違いありません！是非、奮ってご参加ください！

部会長 北村 和広



—2019年度—

□行政法律部会

2019年4月9日(火) 第183回部会

2019年5月9日(木) 第184回部会

2019年6月11日(火) 第185回部会 (予定)

□地域ISP部会

2019年4月22日(月) 第177回部会

2019年5月16日～17日

ISP&クラウド事業者の集いin佐賀

2019年6月18日(火) 第178回部会 (予定)

2019年9月12日(木)～13日(金)

ISP&クラウド事業者の集いin旭川 (予定)

□クラウド部会

2019年4月3日(水) 第86回部会

2019年5月8日(水) 第87回部会

2019年5月16日(木)～17日(金)

ISP&クラウド事業者の集いin佐賀

2019年6月5日(水) 第88回部会

2019年9月12日(木)～13日(金)

ISP&クラウド事業者の集いin旭川 (予定)

□インターネットユーザー部会

2019年4月24日(水) 第137回部会

2019年5月28日(火) 第138回部会

□女性部会

2019年6月3日(月) 部会

□モバイル部会

2019年4月26日(金) 第43回部会in赤羽

2019年5月24日(金) 第44回部会in赤羽

2019年6月21日(金) 第45回部会 (予定)

平成 そして令和

2019年5月1日から年号が変わりましたね。平成が終了し、令和となりました。この元号が変わったことでなんだか新たな時代が始まったと、まあそんな雰囲気があります。

そんな雰囲気に似合った話題を幾つか取り上げてみました。

平成時代にその才能を開花し始めたスーパースター大谷翔平に対して令和時代に大谷以上と話題になっているのが佐々木朗希君。彼が令和のメジャーリーグで活躍すること楽しみにしています。しかし菊池雄星、大谷翔平に続いて岩手県からまた規格外の選手が産まれるのって？ 岩手県 なんなんだ？？

「すごいを超えてる」大船渡の佐々木が「163キロ」

星陵（石川）の奥川恭伸（やすのぶ）（3年）や横浜の及川（およかわ）雅貴（3年）といった選抜大会でも注目された投手が登板。ただ、詰めかけたプロ10球団、メジャー2球団のスカウトから最も注目を集めたのは、東北の公立校から選ばれた右腕だった。星陵（石川）の奥川恭伸（やすのぶ）

（3年）や横浜の及川（およかわ）雅貴（3年）といった選抜大会でも注目された投手が登板。ただ、詰めかけたプロ10球団、メジャー2球団のスカウトから最も注目を集めたのは、東北の公立校から選ばれた右腕だった。

この打席、中日スカウトのスピードガンでは自己最速から6キロ増の「163キロ」を計測。公式戦ではないものの、同じ岩手出身の大谷翔平（エンゼルス）が花巻東高時代の3年夏に全国選手権岩手大会準決勝でマークした高校生史上最速の160キロを上回った。他の数球団でも、160キロ超を記録したという。

朝日新聞デジタル 2019年4月6日

興味の無い皆様はまったくご存じないでしょうが、令和の古典芸能を担う襲名が幾つか進行しています。すでに旭堂南龍の襲名披露は終わりましたが、令和の時代に南龍を再び上

方の大名跡にして欲しいと切に願って居るのです。

「27年ぶり真打ち 講談師・旭堂南青が「南龍」襲名へ」

講談師の旭堂南青（きょくどうなんせい）（38）が今秋、真打ちに昇進し、「旭堂南龍（なんりゅう）」を襲名する。明治期に活躍した上方の人気講談師「藤井南龍」の名を継ぐ。南青は「険しい道かもしれないが、いつか（芸の）頂にたどり着けるよう、面白いなあ、かっこいいなあと言ってもらえる魂を込めた高座を続けていきたい」と決意を語る。南青は近畿大を卒業後、2004年に旭堂南左衛門に弟子入り。関西を拠点に精力的に講談会を開き、女性を中心に人気を集める。上方講談界では真打ち制度は途絶えていたが、「講談をもっと世間に広め、次の時代を担う後継者を育てる責任がある」として、南青が27年ぶりに真打ちに昇進することになり、あわせて襲名も決まった。師匠の南左衛門は「一回りも二回りも大きな講談師になってほしい」と期待をかける。

朝日新聞デジタル 2018年8月30日

ちょっとマニアックですが、令和のタイミングで三遊亭円歌が復活するのです。これは嬉しい。昭和の爆笑王の一人である三遊亭円歌、その名跡が令和に復活するのです。

「三遊亭歌之介が4代目・円歌を襲名 2019年3月から“遺言”守り2年ぶり名跡復活」

落語家・三遊亭歌之介（59）が来年3月に4代目・三遊亭円歌を襲名することが22日、明らかになった。同日、東京・半蔵門の国立演芸場で行われた「三代目 三遊亭圓歌 一周忌追善落語会」で発表された。歌之介の師匠でもある3代目は昨年4月23日に亡くなっており、2年ぶりの名跡復活となる。3代目・円歌さんは早くから売れて、初代・林家三平とともに、二ツ目で寄席のトリを務めたこともあり、「授業中」「中沢家の人々」など新作落語で爆笑王として昭和、平成を通じて第一線で走り続けてきた。その円歌さんの名跡を、師

匠の芸風を色濃く受け継いでいる弟子が襲名する。歌之介も新作落語で爆笑を誘う寄席にはなくてはならない存在だ。

スポーツ報知2018年4月22日

そして大名跡が次々と他界し、停滞気味な歌舞伎界、梨園でも7年ぶりの団十郎復活とのこと。宗家の大名跡が復活するのですから歌舞伎界が総力戦で盛り上げてくれる事でしょう。

「市川海老蔵さんが「団十郎」襲名へ 20年5月に十三代目」

歌舞伎の人気俳優、市川海老蔵さん(41)が、来年の5、6、7月の東京・歌舞伎座を皮切りに各地で襲名披露を行い、十三代目市川団十郎白猿(はくえん)を襲名することが14日、松竹から発表された。同時に長男の堀越勸玄(かんげん)さん(5)が初舞台を踏み、八代目市川新之助を襲名する。

団十郎家は市川宗家とも呼ばれる江戸歌舞伎を代表する名門。海老蔵さんの父十二代目団十郎さんが2013年に病没して以来、7年ぶりの大名跡復活になる。白猿は団十郎家にある

俳号(句作の際の名)。

毎日新聞2019年1月14日

最後にこれが一番わくわくしているのですが、平成時代空白だった講談の大名跡 神田伯山がなんと復活。これは驚きました。昭和の名人伯山が令和に蘇る。伯山がどれだけデカイ名跡か? ピント来ない方が多いでしょうが、でかいんです。喩えて言えば、原辰徳が長嶋茂雄を襲名するようなものです(*^_^*)

神田松之丞、神田伯山の六代目襲名へ「どうしても復活させたい」

人気講師、神田松之丞(35)が29日、公式サイトで、来年2月の真打ち昇進と同時に講談界の大名跡、神田伯山(はくざん)の六代目を襲名することを発表。44年ぶりの復活に「師匠につけて頂いた松之丞という名前は、とても愛着があるものですが。やはりどうしても『伯山』を復活させたいと


財務省・内閣官房

10月1日

消費税率引上げ前後の 値上げ・値下げ

こんな値付けはNGと思いませんか?


「10月1日以降2%値下げ!」という値下げセールをしたらダメ?



OK!!

問題ありません。禁止されるのは、「消費税還元」「消費税はいただきません!」など、消費税と直接関連した広告です。10月から値下げセールを行っても構いませんし、「10月1日以降2%値下げ!」などの広告も、消費税と直接関連しないので、NGではありません。


10月1日より前の値上げは、便乗値上げになるからダメ?



OK!!

問題ありません。例えば、消費税率引上げ前の需要の高まりやコストの増加に対応して値上げを行うなど、経営判断に基づく自由な価格設定は妨げられません。合理的な理由があれば便乗値上げには当たりませんが、必要に応じ、値上げの理由を消費者に丁寧に説明して下さい。

税抜での価格表示はダメ?



OK!!

問題ありません。消費者に税込価格と誤認されないための措置を講じていれば、税抜価格のみの表示も可能です(2021年3月31日まで)。

▼ OK? NG? 迷った時は ▼

- セール・「今だけお得」関係 ———— 消費者庁表示対策課 03-3507-8800(代表)
- 便乗値上げ関係 ———— 消費者庁消費者調査課 03-3507-9196
- 価格表示関係 ———— 財務省主税局税制第二課 03-3581-4111(代表)
- 転嫁拒否関係 ———— 公正取引委員会消費税転嫁対策調査室 03-3581-5471(代表)
- 中小企業庁消費税転嫁対策室 03-3501-1511(代表)

より詳しい内容についてはこちら

価格設定 ガイドライン

転嫁対策 事業者向け パンフ

検索

※「消費税率の引上げに伴う価格設定ガイドライン」や「転嫁対策 事業者向けパンフレット」でもご確認ください。

いう思いに至りました」と説明した。

サンケイスポーツドットコム 2019年4月30日

そして令和になってこの年号を屋号にしておもうと話題をさらった？のが、プリマ旦那。5月1日に令和喜多みな実にコンビ名を変更し、しゃれで襲名披露を行いました。若手といっても10年選手の漫才師。昭和のいるこいる、平成ノブシコブシに続いて、年号を屋号とする漫才師の誕生です。河野と野村の令和喜多みな実、いいですよ～、是非注目してください。

皆様、令和になってわくわくすること、いろいろありますか？

【意見書提出】

■「アクセス抑止方針に係る検討の論点」に関する意見書を提出 (2019/5/14)

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/190514_access.pdf

事業者の皆様！
準備はお済みですか？
本年(2019年)10月1日から
消費税の**軽減税率制度**が実施されます。
仕入税額控除の方式が変わります！

標準税率 **10%** と、
・飲食料品(酒類・外食を除く)
・新聞(定期購読契約された週2回以上発行されるもの)
に係る軽減税率 **8%** について

帳簿・請求書・レシート等の記載を
複数税率に対応させる必要があります。

CHECK 全ての事業者の方に関係があります！

飲食料品等の販売がない場合も、
例えば、飲食料品等の仕入がある
場合は、帳簿上、軽減税率対象で
ある旨を明記する必要があります。



レジや受発注・請求書管理システムの
導入・改修が必要となる場合があります。

CHECK 軽減税率対策補助金
が拡充されました！

中小企業・小規模事業者等の方向け
に複数税率対応レジの導入等を支援
します。ぜひご活用ください。



軽減税率制度説明会にぜひご参加ください。

全国で開催されています。日程・場所等の情報
は下記よりご確認いただけます。

軽減税率制度説明会

検索



軽減税率制度についてはこちら

軽減税率 国税庁



軽減税率対策補助金についてはこちら

軽減税率対策補助金



財務省 www.mof.go.jp

KROW株式会社

この度、日本インターネットプロバイダー協会に新たに加入しましたKROW株式会社です。ご紹介の機会を頂き、ありがとうございます。私、宮内が、当社について自己紹介をさせていただきます。

ご承知の方もおられると思いますが、私は前職時代から、JAIPAの活動をさせて頂き、多くの機会、ご縁を頂きました。改めて感謝申し上げます。

働き方が自由になるITツールは進歩しているのに、増えないリモートワーク、大都市への人口一極化を変えたく、ITサイドからだけでなく、働き方からも進めたほうが面白いのではないかと思います、友人と当社を創業しました。

KROWという社名は、WORKを反対に並べたもので、働き方が180度変わる世の中にしていきたいという思いで名付けました。まずは、政府が推進している副業解禁に合わせて、複業（当社では、サブの副ではなく、マルチの複の字を使っております）を促進していく所存です。

また、働き方が大きく変われば、ネットワーク、アプリケーションに対する要求も変わってくると思っています。これらについても、JAIPA会員の皆様と共有、協議していきたいです。引き続き宜しくお願いします。

■KROW 会社概要

会社名：KROW株式会社

代表取締役：宮内 正久

創業年月日：2018年11月1日

資本金：500万円

■本件お問合せ先

担当者：宮内 正久

メールアドレス：miyauchi@krow.co.jp

SBクラウド株式会社

このたび、日本インターネットプロバイダー協会に入会いたしました、SBクラウド株式会社です。

当社はソフトバンク株式会社、アリババグループの共同出資によって2016年1月に設立された合弁会社で、2016年12月よりパブリッククラウドサービス「Alibaba Cloud」の日本国内のデータセンター運用やサービスのローカライズ、日本語サポートを行っています。

「Alibaba Cloud」は世界トップ3のIaaSプロバイダー^{※1}であり、中国最大のパブリッククラウドサービスプロバイダー^{※2}です。Tmall、Taobao、Alipayなどのアリババグループのサービス運営基盤として活用されているだけでなく、スタートアップ企業、中小企業、政府関連機関をはじめとする、世界中の事業者^{※3}に包括的なクラウドコンピューティングサービスを提供しています。

日本においても主に流通・小売業、製造業などを中心とした企業にご活用いただいております。今後もソフトバンクグループ、アリババグループの強みを活かしながら、AI・IoT・5Gなどの最新技術とクラウドを組み合わせたソリューションを展開して参ります。

また「中国最大のパブリッククラウド」という強みを活かし、日本企業の中国進出サポートも積極的に行っております。

JAIPAでも、会員の皆さまとの交流を深めながら、日本のクラウド業界、インターネット業界の発展に寄与していきたいと思っております。

これからどうぞよろしくお願いたします。



※1 Gartner Worldwide IaaS Public Cloud Services Market Share, 2016-2017

※2 IDC Semiannual Public Cloud Services Tracker, 2018 H1

行事一覧

1月

- 8日(火) 第180回行政法律部会
- 9日(水) 第83回クラウド部会
- 16日(水) 第129回運営委員会
- 23日(水) 臨時理事会
- 23日(水) 2019年賀詞交歓会
- 24日(木) 第174回地域ISP部会
- 24日(木) 第40回モバイル部会
- 28日(月) 第135回インターネットユーザー部会



1月23日
賀詞交歓会

2月

- 5日(火) 第181回行政法律部会
- 6日(水) 第84回クラウド部会
- 19日(火) 第130回運営委員会
- 20日(水) 第175回地域ISP部会
- 22日(金) 第41回モバイル部会
- 28日(木) 女性部会
- 28日(木) 沖縄ICTフォーラムプログラム委員会

3月

- 5日(火) 第182回行政法律部会
- 6日(水) 第85回クラウド部会
- 14日(木) 第136回インターネットユーザー部会
- 26日(火) 集いin佐賀プログラム委員会
- 26日(火) 2018年度第3回理事会
- 27日(水) 第176回地域ISP部会
- 29日(金) 第42回モバイル部会

4月

- 3日(水) 第86回クラウド部会
- 9日(火) 第183回行政法律部会
- 15日(月) 女性部会
- 22日(月) 第177回地域ISP部会
- 23日(火) 第131回運営委員会
- 24日(水) 沖縄ICTフォーラムプログラム委員会
- 24日(水) 第137回インターネットユーザー部会
- 26日(金) 第43回モバイル部会

5月

- 8日(水) 第87回クラウド部会
- 9日(木) 行政法律部会
- 16日(木)～17日(金)
ISP&クラウド事業者の集いin佐賀
- 21日(火) 2019年度第1回理事会
- 24日(金) 第44回モバイル部会
- 28日(火) 第138回インターネットユーザー部会



5月28日
インターネットユーザー部会

6月

- 5日(水) 第88回クラウド部会
- 17日(月) 2019年度定時総会
- 18日(火) 第178回地域ISP部会(予定)
- 28日(金) 第45回モバイル部会(予定)

役員一覧

名誉会長

渡辺 武経 株式会社ディー・エヌ・エー

会長

会田 容弘 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

副会長

佐々倉 秀一 NTTコミュニケーションズ株式会社

西山 裕之 GMOインターネット株式会社

立石 聡明 有限会社マンダラネット

専務理事

立石 聡明 有限会社マンダラネット

常任理事

秋山 卓司 クロスモバイル株式会社

萩原 正也 ニフティ株式会社

小畑 至弘 BizMobile株式会社

鎌倉 忍 ディーシーエヌ株式会社

久保 真 ビッグロブ株式会社

晋山 孝善 ジェットインターネット株式会社

竹綱 洋記 ソフトバンク株式会社

田中 邦裕 さくらインターネット株式会社

内藤 幹徳 KDDI株式会社

永田 勝美 株式会社NTTぷらら

理事

家本 賢太郎 株式会社クララオンライン

石田 卓也 株式会社イプリオ

植田 裕之 株式会社ネットフォレスト

高橋 美博 株式会社シナプス

中野 雄一 株式会社エヌディエス

野口 尚志 EditNet株式会社

福智 道一 BBIX 株式会社

横田 洋人 株式会社アットアイ

渡辺 武経 株式会社ディー・エヌ・エー

監事

新堀 龍明 株式会社サンライズシステムズ

竹内 常夫 虹ネット株式会社

(2018年6月13日現在)

会員一覧

■正会員 [148団体]

株式会社アイエフネット

株式会社IMS

株式会社アイキューブ・マーケティング

株式会社IC-NET

株式会社IDCフロンティア

株式会社アインシス・ジャパン

AXLBIT株式会社

アクロニス・ジャパン株式会社

株式会社朝日ネット

株式会社アットアイ

株式会社アット東京

アミック株式会社

株式会社有明なっとこむ

アルテリア・ネットワークス株式会社

株式会社イーネット

イーブロードコミュニケーションズ株式会社

イエスネット株式会社

イツ・コミュニケーションズ株式会社

株式会社イプリオ

射水ケーブルネットワーク株式会社

株式会社インターネット尾張

インターネット・フューチャー株式会社

インターネットプロ東海株式会社

株式会社インターリンク

エキサイト株式会社

株式会社STNet

SBクラウド株式会社

株式会社エディオン

EditNet株式会社

株式会社エヌディエス

NTTコミュニケーションズ株式会社

エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社

株式会社NTTドコモ

株式会社NTTPCコミュニケーションズ

NTTビズリンク株式会社

株式会社NTTぷらら

エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社

株式会社エンボリック

オーシャンブロードバンド株式会社

株式会社大塚商会

大槻電気通信株式会社

株式会社オキット

カゴヤ・ジャパン株式会社

関越ネットワークシステム株式会社

特定非営利活動法人きたうら花ねっと

株式会社クオリティア

株式会社クララオンライン

KROW株式会社

会員一覧

株式会社グローバルネットコア	那賀町ケーブルテレビ	メディアウェイブシステムズ株式会社
株式会社クロストラスト	株式会社長野県協同電算	株式会社メディアブリッジ 東京支店
クロスモバイル株式会社	那須インフォネット株式会社	ライド株式会社
株式会社クロノス	株式会社NAX	楽天コミュニケーションズ株式会社
株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ	株式会社新潟通信サービス	リコージャパン株式会社
株式会社ケー・アイ・ピー	株式会社西新宿ドットネット	株式会社両毛インターネットデータセンター
株式会社ケーシーエス	虹ネット株式会社	Rebyc株式会社
KDDI株式会社	ニフティ株式会社	ワークアップ株式会社
株式会社コアラ	日本・アルカディア・ネットワーク株式会社	
株式会社高知システムズ	日本情報システム株式会社	
コスモメディア株式会社	日本ネットワークイネイブラー株式会社	
彩ネット株式会社	株式会社日本レジストリサービス	■賛助会員 [5団体]
さくらインターネット株式会社	株式会社ニューメディア徳島	国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
株式会社さくらケーシーエス	株式会社ネクストジェン	サイバーソリューションズ株式会社
サンコー事務機株式会社	株式会社ねこじゅらし	特定非営利活動法人日本テレマーケティング保護協会
株式会社サンメディア	株式会社ネスク	日本ネットワークセキュリティ協会
株式会社サンライズシステムズ	株式会社ネットアイアールディー	一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム
株式会社シーエスファーム	株式会社ネットフォレスト	
GMOインターネット株式会社	株式会社ハイネット	(団体名五十音順) 2019年5月10日現在
GMOクラウド株式会社	株式会社ハイホー	
ジェットインターネット株式会社	BBIX株式会社	
株式会社Geolocation Technology	株式会社光システム設計	
株式会社シナプス	BizMobile株式会社	
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー	株式会社日立システムズ	
セイコーソリューションズ株式会社	株式会社ビックベースソリューションズ	
株式会社ゼクシス	ビッグロブ株式会社	
株式会社創風システム	株式会社ヒューメリア	
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社	株式会社ファミリーネット・ジャパン	
ソピアフォンス株式会社	株式会社フィックスポイント	
ソフトバンク株式会社	株式会社フォーサイトウェブ	
ZOROK株式会社	株式会社fonfun	
有限会社たけかわ企画	富士通クラウドテクノロジーズ株式会社	
合同会社 double A one	株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート	
ダンボネット・システムズ株式会社	株式会社フューチャースピリッツ	
中国聯通日本オペレーション株式会社	株式会社フューチャーネットワークス	
株式会社ディー・エヌ・エー	フリービット株式会社	
ディーシーエヌ株式会社	ブロックスシステムデザイン株式会社	
株式会社TCP	有限会社プロベル	
合同会社DMM.com	株式会社北斗システムジャパン	
株式会社電算	HOYAサービス株式会社	
103R株式会社	株式会社マイメディア	
電通工業株式会社	松本商工会議所	
株式会社TOKAIコミュニケーションズ	有限会社マンダラネット	
トナミ運輸株式会社	三井物産セキュアディレクション株式会社	
株式会社トリトン	ミテネインターネット株式会社	
有限会社ナインレイヤーズ	株式会社ミライコミュニケーションネットワーク	

地域ISPの終わりとは始まり

こなさん、みんなは。鹿児島県の地域ISP、シナプス(SYNAPSE)の竹内です。昭和ネタから入りましたが、既に時代は令和。令和の子どもたちが見る昭和と、昭和の自分たちが見る明治が同じ感覚と考えると、いっきに老いを実感します。

さて弊社株式会社シナプスでは前年度に、会社幹部と一緒に半年近く議論して、経営理念の見直しを行いました。唐突ですが、そのうちのミッションとビジョンをご紹介します。

シナプス ミッション (使命)

・インターネットで、鹿児島の毎日を笑顔にします。

シナプス ビジョン (実現すること)

・鹿児島・お客様・仲間・家族・自分の豊かさを追求します。
・鹿児島の生活が楽しく便利になるサービスを提供します。
・鹿児島に、プロフェッショナルを育成しその能力を発揮できる環境を作ります。

もうこれでもかというくらい、鹿児島推しです。どんでん返り鹿児島が好きなのかと。ただ私自身は埼玉県川口市生まれで、三重県鈴鹿市に実家があり、未だにネイティブなかごんま弁は分かりません。

●地域ISPの憂うつ

シナプスが創業した1995年から数年間のダイアルアップ全盛期は、鹿児島県内にアクティブな地域ISPが5、6社はありました。家電量販店の売り場応援でよくかち合せて、火花を散らしていました。しかしフレッツとY!BBの登場で競争環境が大きく変わって地域ISPは減少し、今の競争相手は全国系ISPとキャリアになりました。これまで、光コラボ・MVNO・ドコモ光・新電力などをやってきましたが、なかなか大手競合との差別化も難しく、規模に劣る地域ISPとしては長らく続く受難の時代で、まだ出口は見えません。

●鹿児島地域性

ISP専門のシナプスがなんとか生き残っているのは、ちょっとの運と鹿児島特有のビジネス環境に依るところが大きいです。鹿児島は県域だけでほぼ商圏が閉じていて、地上波民放などの主要マスメディアや有力な小売に県内資本の企業が多く、県域だけに絞らねばならぬ販促や提携を行いやすいです。テレビCMも県域であれば比較的予算で流せるので、全国を対象とする大手競合とも、メディア露出の面ではいい勝負ができます。また県民性として「地元びいき」の風潮もけっこうあるようです。

あと2017年に野村総研が公表した「成長可能性都市ランキング」において、なんと鹿児島市が全国で2番目にポテンシャルが高い都市として評価されました。マクロで見れば、人口減少・集落消滅・高齢化・若年層流出など悲観要素も多くて、そんな評価をもらう実感には乏しいです。ただミクロで見て鹿児島に大きな可能性を感じるのが、「ワークライフインテグレーション」を実現する人が増え、さらにそれに魅力を感じる若者も増えつつあり、かつそのスタイルを実現しやすい環境が鹿児島にあることです。

●等身大のワークライフインテグレーション

いまワークライフバランスが流行っています。仕事一辺倒ではなく、仕事と私生活が高度に調和した社会やライフスタイルを目指した動きです。しかし今、鹿児島でも増えつつあると感じるワークライフインテグレーションは、仕事と私生活を二元的にとらえるのではなく、仕事も私生活も自分の人生に包含される不可分なものとする考え方です。例えばワークライフバランス思考では、仕事の時間を増やすと私生活の時間が減ってしましますが、ワークライフインテグレーションでは、仕事も私生活も混じり合っているので、排他的にと

られません。ワークライフインテグレーションの分かりやすい例をあげると、フリーランスのクリエイターなどでしょうか。住みたい場所で働き、働きながら公私共に自己実現を楽しむ、というような。いたずらに経済規模や富を追うのではなく、自分の等身大の豊かさを求めることにつながるスタイルのような気がします。

●鹿児島のワークライフインテグレーション

鹿児島においては、クリエイター系他、地域密着志向のワークライフインテグレーションに注目しています。地元の伝統的な農海産物や工芸品をリニューアルして新しい価値を作り出してビジネスに仕立てたり、また衰退する地域コミュニティに取って代わり、廃校のリノベーションなどにより地域資源を再活用したりと、鹿児島県内各地で事例があります。このような地域密着志向の仕事をする、仕事で関わる人と私生活で関わる人が重なってきて、仕事と私生活の線引きがなくなり、ワークライフインテグレーションにつながっていきます。そして鹿児島では、そのような人が増えつつあります。

他の地方の状況を知らないで鹿児島びいきな見方になるかもしれませんが、なぜ鹿児島に地域密着志向のワークライフインテグレーションが増えているのか理由を考えると、温暖な気候に豊かな自然、程々の人口規模と経済規模、そして程よいムラ(村)感が残っているからかな、と考えています。

●地域ISPの新しい役割

そのような状況で地域ISPは、まさに名前の通り地域密着を真っ直ぐに志向する中で、新しい展望が開けてくるのではと期待しています。いま地域で活躍するプレイヤーは、SNSを始めICT利活用に長けた方が多く、その利活用を支える点において、インフラから顧客フロントまで一貫したサービスが提供できる地域ISPの役割は大きいです。現にいま、そういった方々からの期待も実感します。また今後5Gが普及していくなかで、リアルタイム性が重視されたサービスの展開が想定されていますが、そのサービスの基盤として、地域ISPならではの、ユーザーに近いローカル型のDCが脚光を浴びるかもしれません。

技術や社会の動向が今後どうなるか確実なことは分かりませんが、ただ一つ確信するのは、地域ISPであるシナプスは、鹿児島の発展なしに企業としての成長はないということです。これからも経営理念をベースに、鹿児島ファーストで新しい地域ISPの境地を開拓していこうかなーと思います。



株式会社シナプス 竹内 勝幸

お知らせ

当協会 理事である 石田 卓也 氏（株式会社イプリオ 代表取締役）が、平成31年4月22日（月）午前7時26分に逝去されました（享年46歳）。
当協会への多大なご尽力に感謝いたしますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

石田 卓也 氏の「お別れの会」を下記の日時・会場にて執り行われる予定です。

日時 令和元年7月30日（火）17時～20時（受付 16時～）
場所 東京都青山葬儀所

詳しくは、株式会社イプリオのWebサイトをご覧ください
<https://www.iprio.com/info/20190529>

JAIPAの仕事の中で一番大変なのは、飲み会の場所探しである。
会議室で自分がどこに座っているのか書き込む座席表があるのだが、といっても、A4サイズのただのペラペラの用紙である。会議中にコピーして配布すれば誰がどこに座っているのか一目瞭然なので、重宝する代物である。これがJAIPAらしく、懇親会の出欠をチェックする記載がある。今まで「行く人」と挙手して頂いていたが、そうすると聞くのは会議終了後になるし、そこから人数が確定し場所探しとなると大変な作業になる。今から10人いいですか？15人空いてますか？と電話しまくるのだが、その間、みんなには会議室で待機しててもらわなければならぬ。そこで考え着いたのは座席表に懇親会の出欠チェックを入れたらどうだろうと…
それからは会議が始まって20分後には、懇親会の人数がほぼ確定できるし、会議終了までには何とかお店を確保することができるので、事務局としても重宝する代物である。
ただね、これね、なんでかわからないのだけでも、チェック入れない人がいる。ま、ま、予定がわからないからなのか、勝手がわからないのか、いやでもね、会議終了後の話なんだけどなあ。ま、ま、ま、そういう方はほぼ不参加なのだが、でもね、時々、チェックしていないのに参加する人もいたりするし、なかには、参加しない、にチェックしているはずなのに、飲み会の席にちゃっかり座っている人もいたりするし、本当にマジこれ一番のやっかいなのである。席にゆとりがあればいいが、女性が予約を入れるせいか、ぎつつきのテーブル席になる場合もあるのだ。なので、ここ最近では、割とふくよか多めなので、と添えることを忘れない。
ということで、みなさん、会議の座席表の懇親会の欄、チェックを必ずいれて頂けると大変大変助かりますので、ご協力のほどよろしくご願ひ申し上げます。（T）

JAIPA Express Vol.51

2019年6月10日 初版第1刷発行

発行所 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 (JAIPA)
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-1 オダカビル6F
TEL:03-5304-7511 FAX:03-3379-5530
URL:<http://www.jaipa.or.jp/> E-mail:info@jaipa.or.jp

印刷 フジサービス株式会社
〒105-0014 東京都港区芝2-20-8



■本書の内容に関するご質問は、E-mailにてお問合せください。
■本書掲載記事の無断掲載・放送は堅くお断りいたします。
■乱丁・落丁本がございましたらお取り替えいたします。

©2019 Japan Internet Providers Association